



院長

村上 優(むらかみ まさる)

1949年生まれ

74年九州大学医学部卒

86年国立肥前療養所精神科医長、2002年同療養所臨床研究部長、

同年King's College London Institute of Psychiatry(司法精神医学研究所)長期研修。

2005年花巻病院臨床研究部長(併任)、2006年琉球病院長を経て、2014年榊原病院長に就任。

日本司法精神医学会理事、日本アルコール関連問題学会監事。

NGOベシャワール会の会長として活躍。



診療科

- ・ 一般精神科
- ・ アルコール・薬物依存症
専門外来
- ・ こころのリスク外来

病床数

176床

- ・ 精神科病棟 158床
- ・ 医療観察法 18床
- ・ 認知症ユニット
- ・ アルコール・薬物依存症ユニット

病院理念

この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である

新年のご挨拶

院長 村上 優

平成29年が始まりました。新年明けましておめでとうございます。

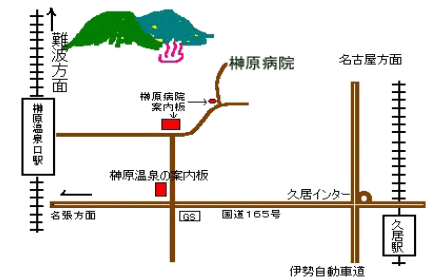
西年の今年は病院近くの榊原川の水面を飛ぶカワセミから始まりました。小さな鳥ですが翡翠を想わせる鮮やかなコバルトブルーと素早い動きに魅了されます。広い範囲に棲んでいて沖縄の河口で見たこともあります。幸先の良い年であることを祈っています。

榊原病院の始まりは厚生労働省のモデル事業として難治性精神疾患地域連携体制整備事業により、三重の地でクロザピンの普及活動を始めます。当院では既に38の方が治療抵抗性統合失調症治療薬のクロザピンを使用して重症者の退院が進んでいます。個人的には2009年に沖縄の琉球病院で初めて普及に取り組んだいきさつもあります。治療効果の評価、「重度かつ慢性」研究で精神疾患治療の進歩を明らかにし、血中濃度測定、副作用対策へのノウハウ等を経て榊原病院でもクロザピン病棟を発足しました。日本での登場から10年ですが、発足当時のクロザピンに対する「抵抗」も和らいだのは、全国の仲間と地道に進めてきた実績からです。初めの一步を踏む緊張感とは臨床家としての矜持で、我が国の医療に寄与できたことはささやかな誇りです。

榊原病院の病棟全面改修の基本設計が終わりました。1年近くをかけて榊原病院のチームが設計者と全体構想から風呂や照明の具体的なアイテムまで徹底してこだわって討議しました。国立病院機構本部の理解の元によきアドバイザー、よき設計者に巡り会い、建物から新しい精神科医療に息吹を送る意気込みの建築の完成は平成30年春になるでしょう。1年の工事期間にはご不便をかけますが結果を楽しみにしています。

新しい器に、新しい医療の準備は整ってきました。アルコール・薬物依存・アディクション医療、児童思春期医療、認知症医療、急性期医療、司法精神医学の領域で、地域の多くの機関や援助者と榊原病院多職種チームの連携による新しい医療にご期待ください。

カワセミの美しさと機能性、そんな病院となることを夢見ています。



電車・バス／近鉄久居駅下車、三交バス(榊原温泉口駅行)にて約30分。榊原口バス停下車徒歩約10分。

自動車／久居インター(伊勢自動車道)より西へ約20分

マイクロバス／久居駅より直通バス(約25分)

トピックス

行事・出来ごと

教育・研修

- アルコール家族教室(10/27、11/10、24、12/8、22、1/12、26、2/9、全8回13:30~14:50)
- 平成28年12月16日、三重県による精神科病院実施指導がありました。
- 平成29年1月12日、難治性精神疾患地域連携体制整備事業の説明会(於:当院)
- 平成28年12月18日、回想法研修を行いました。
- 三重DPAT研修 平成29年1月21日(土) 9時~
場所: 三重県身体障害者総合福祉センター大研修室、研修対象者: DPAT隊員等

榊原病院ホームページ
QRコード



地域医療連携室だより

〈図書ルームからのお知らせ〉

患者様・ご家族様に、図書を通じて病気や医療・福祉の情報を広く知っていただき、回復への志向・治療に取り組み意欲を高め、治療に参加し、治療者とのより良いコミュニケーションにつながればと考えています。

入院患者様は自由散歩の時間を利用して、ふらっと寄ってパラパラと見て帰る方、しっかりと読み込んで帰る方など様々です。 開設時間：第2月曜日11時～12時



空床状況
12月28日現在

精神科病棟
30床

訪問看護

当院の訪問看護は、退院後地域で安定した生活が送れることを目標といたしております。退院後の課題といたしましては、大切な薬を中断してしまうこと・生活リズムを守れず昼夜が逆転してしまうことやお金の管理が上手くできず使いすぎて生活に困る等の病状がみられます。

これらの症状の悪化に伴い再入院する方が多くなっております。患者様と家族の困ったことについて、地域の方々の支援を受けながら一緒に考え、安定した生活ができることを目標としております。

治療抵抗性精神疾患への医療

〈クロザピンの治療状況〉

治療抵抗性統合失調症に対して、平成26年10月に1例目の投与を開始し、平成28年12月までに全症例は38例となりました。1月も順次投与を開始する予定です。

また、今後クロザピン専門外来の開設についても準備を進めていく予定としております。



認知症医療・アルコール・薬物依存医療・こころのリスク外来

〈認知症医療〉

認知症の患者様は高齢であることから、様々な合併症をお持ちの方が多くおられます。また、アルコール問題の後に、認知機能が低下した方、さらに身体疾患に併発した認知機能の障害のある方は、若年の方にも見られます。したがって、現在は80歳以上の超高齢の方と50～60代の若年の方にも見られます。身体的な問題については、三重中央医療センターと連携を図りながら、幻覚や妄想、不穏など認知症の周辺症状(BPSD)に対応しています。

一般病院や介護施設において、BPSDの問題でお困りの場合はご相談ください。

〈アルコール・薬物依存医療〉

適正な飲酒量とはどの程度かご存知でしょうか? 「節度ある適度な飲酒」とは、純アルコールで1日約20グラム程度、つまり日本酒なら1日1合、ビールなら大瓶1本だけなのです。日本酒3合では健康に悪影響の出る「多量飲酒」(健康日本21)と言われております。もし減らすことが難しいという方がおられましたら、外来・入院での治療プログラムにてご協力させていただきます。平成27年4月から当院のアルコール・薬物依存症治療のプログラムをリニューアルしました。

お一人で、ご家族だけで悩み解決しようとするのではなく、まず専門スタッフへお気軽にご相談下さい。ご自分だけで抱えずにご相談することが、病気を回復する第1歩です。

〈こころのリスク外来〉

思春期・青年期はこころのリスク状態が高まり、さまざまなこころの病気を発症しやすいと言われています。当外来はこころのリスク状態を早期に発見・治療していくための専門外来ですので、お気軽にご相談ください。



デイ・ケア案内

デイケアは毎週、木曜日を除く週4日、北病棟3階作業療法室奥で実施しております。実施時間は9時30分から15時30分です。

朝から参加するのは大変だという声もありますが、朝から起きて活動する場所として活用して頂きたいと思っております。昼食づくり等の新しいプログラムも行います。参加希望の方は主治医またはデイケア担当者にご連絡下さい。

主な内容：症状自己管理教室、スポーツ、クッキング教室、カラオケ、など
デイケアのパンフレットを外来待合室に置いてあります。また、病院ホームページに月間プログラムもあります。お気軽にお問い合わせ下さい。



榊原は自然がいっぱい!
お話しながら歩きませんか?



大人気のクッキング教室で、
カレーライスを作りました。

近況だより 楽しかったね。秋祭り

